

「POPs農薬無害化処理技術等検討会」での検討状況について

水環境部農薬環境管理室

1 . POPs農薬の現存量及び埋設量等の把握推定

- (1) 農林水産省が平成13年12月にとりまとめた「埋設農薬の実態調査結果について」では、過去に埋設処理した残留性有機塩素系農薬（BHC、DDT、アルドリン、ディルドリン及びエンドリン）のうち、現時点で埋設場所が特定された農薬は、全国174カ所、総量約3,680t（別紙参照）。
- (2) また、水環境部の検討会においては、農家段階でのDDTなどのPOPs農薬等の保管実態に係るモデル調査を農協等の協力の下に実施中。

2 . POPs農薬（有機塩素系農薬）全般に使える汎用無害化処理技術の実証・評価

- (1) POPs農薬の処理に適した技術を有すると考えられる企業に対し、調査票による調査並びに専門家によるヒアリングを実施し、本年度の調査対象技術として2技術（直接熔融ロータリーキルン及び外熱式ロータリーキルン）を選定。

なお、POPs農薬等を対象とした無害化処理技術の実証は、農林水産省においても実施しており、調査対象技術の選定に当たっては重複を避けて実施。

- (2) 選定された2技術については、現在実証に向けて準備中。

得られた実証データは、「POPs廃棄物処理等検討会」にもデータ提供を予定。

3 . その他無害化処理等に当たり必要な事項

- (1) 農林水産省では、埋設農薬の実態調査のとりまとめに合わせ、埋設地点の環境調査の実施及び埋設農薬の現状維持が困難な場合の掘り出し並びに適切な地上保管の実施等を求める指導通知（埋設農薬の管理について）を発出。
- (2) 環境省水環境部では、埋設農薬周辺の環境調査、周辺環境への危惧が大きいと判断された場合の緊急措置として掘削・保管を行う際の作業手順や留意事項を「埋設農薬調査・掘削等暫定マニュアル」（別添資料参照）として年末にとりまとめ、都道府県等に対し通知。

沖縄	国庫補助	1	25.000	9.000	5.940	0.048		10.012		
	その他	1	2.000						2.000	
合計	国庫補助	43	2,159.262	949.836	681.672	43.092	17.859	38.913	427.890	掘出保管46t 処分済772.224t
	その他	131	1,521.097	858.828	262.094	8.758	1.026	0.163	390.227	掘出保管0.257t 処分済211.3t
総計		174	3,680.359	1,808.664	943.766	51.850	18.885	39.076	818.117	掘出保管46.257t 処分済983.524t

(注)「区分」欄の国庫補助は、国庫補助事業（農業安全処理対策事業）によって埋設されたものである。